



# 佐土原ロータリークラブ週報



会 長：佐藤 高元 幹 事：太田 忍  
 副 会 長：梶田與之助 会報委員長：林 厚雄  
 会 計：村岡 博  
 事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18  
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877  
 携 帯：090-9596-6114 吉野由里子  
 例 会 日：毎週水曜日  
 例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ  
 TEL：0985-73-0109

次週 8月9日プログラム予定 会員卓話 岩切正司

第939回 平成18年8月2日(水)

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
  - 2. ロータリーソング  
「手に手つないで」
  - 3. 会 長 の 時 間
  - 4. 幹 事 報 告
  - 5. 今月のセレモニー
  - 6. 会員卓話(岩切徳夫君)
  - 7. 点 鐘

また、当日新会員を迎える事が出来ましたことも記念すべきことでした。新会員の日高宗範君が一日も早くクラブにとけ込んで、ロータリアンとして一緒に汗を流して行けるよう願っています。

＝中略させていただきます＝

いよいよ8月です。8月のプログラムを確認し事前の準備を行い楽しい魅力的なクラブ活動ができるようにみんなで盛り上げたいものです。8月のプログラムでは、第一週・二週・三週が「卓話」になっています。2006年～2007年度はクラブ活性化を目指しています。親睦を深め、奉仕の心を学ぶ魅力的な例会にすることがまず第一の条件であります。異業種の話聞くことによって、見識を広め友情と信頼を深めていきます。それぞれ自分の仕事が忙しいことは十分わかりますが、苦勞して準備した友達の卓話に耳を傾ける時間の確保に努力することは決して無駄なことではありません。

先日、次の例会で行うことになっている「直前会長・幹事・会計への感謝状贈呈」の準備が気がかりで連絡をとりました。「すでに準備してあります。」と林厚雄会員より即座に返ってきました。安心しました。ガバナー公式訪問においてもそうでしたが、みんなが目配り気配りをして仕事を進めていく「佐土原ロータリークラブ」のよさがここにあります。まさに「率先しよう」そのものです。信頼と友情はこのような行動・実践によって育つのだと強く感じました。誰でも、頭の中では理解出来ても実践が伴わない事はよくあります。ロータリーの活動でもおなじことです。

第938回の記録 平成18年7月26日  
 ★ 会長の時間 佐藤 高元 君



公式訪問で富永ガバナーを紹介する佐藤会長

皆さん今日は。  
 第937回の例会はガバナー公式訪問でした。準備の間が短かったにもかかわらず、それぞれの立場での仕事に最大の努力を注いでいただきました。その結果、計画通りに実施できました事は、「佐土原ロータリークラブの仲間はずごい」の一言に尽きます。

表より続く

親睦を深める、奉仕の理想、一応の理解は出来ても実践が伴わないと感じているロータリアンは多い。

ある本に次のような内容の一節がありましたので紹介します。「単に知っていることとこれを実践できることとは相当の隔たりがありません。例えば、親睦友愛は必要であると口先だけで言うロータリアンは数多と思いますが、毎週の例会において何人のロータリアンが自ら進んで親睦活動を実践しているのでしょうか・・・

あなたは、例会ごとに新しい知りあいを作りましたか、また単なる知人程度のお付き合いを親友ていどまで親しさを高めましたか。ロータリアンの例会はお互いに切磋琢磨する場であるといわれています。今日の例会であなたは果たして何を得ましたか求むる心がなければ得るところは少ないと思います。

理解と実践の隔たりを埋めるのは、決して難しいことではないと思います。

佐土原ロータリークラブのような目配り気配りのきいた日常の活動こそが大切であると思つづく思います。

☆ ロータリーの友 8月号届く ☆

今月号も内容充実！  
「8月は会員増強および拡大月間」～  
各クラブの  
体験例紹介等～



『友』インターネット速報 No. 242

国際親善奨学生が日本とガーナの懸け橋に  
2004-06年ロータリー財団国際親善奨学生としてガーナ大学に留学した澤恵子さんは、人道的奉仕の最前線に立ち、自分を派遣してくれた日本と、受け入れ国であるガーナのロータリアンとの国際理解を深めることになりました。

澤さんは留学中、里親制度がボルタ地域の児童売買の温床となっている可能性を突き止めるため、ガーナ人家族の研究調査を実施。ガーナ大学ローターアクトクラブの会員として、テシエ孤児院に米、トウモロコシの粉、調理用具、本を提供し、2004年と2005年にはガーナのポリオ・プラス予防接種キャンペーンにも参加しました。

第2660地区（大阪府）にある香里園ロータリークラブが送り出した初の国際親善奨学生である澤さんは、毎月の活動を同クラブに報告し、ガーナでは地区大会や協議会、例会の場を借り、大勢のロータリアンの前で日本についての紹介を行いました。

「ガーナには豊かな文化があります。助け合うのは家族だけでなく、隣近所の人々も同じです。開発国では家族のきずなが薄れてきていると言われていますが、ガーナの人々は、私たちが忘れてしまったことを大切にしています」と澤さんは語っています。

♪ハッピーメッセージが届きました♪

ハッピーの小箱～とても良い考えだと思います。ロータリアンの皆様、頑張ってくださいませ。



{中武夫人・ちづ子さんより}  
皆様のメッセージをお待ちしています。

事務局

～ MEMO ～

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

出席状況 第935回 平成18年7月5日

会員数	28名	欠席者数	1名
出席者数	27名	メイクアップ	0名
出席率	96.0%	修正出席率	96.0%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか